

市政そここが知りたい

一般質問は、議員に与えられた発言の場で市政について質問をすることができます。この一般質問のページは質問者が自ら執筆した原稿を掲載したものです。限られた字数のため、詳細については本庁・支所にある市政情報コーナー、図書館に備えつけの会議録や市議会ホームページをご覧ください。

格差がなくなった同和 行政は廃止すべきでは

おりづる 菅野 博子

問 2016年度2団体が補助金の申請をせず4団体となった。都市化が進み人口移動で混住が進んだ状況で、同和对策の終結を。
答 差別発言やインターネット上の差別があり、人権教育等の相談体制等の充実を求めています。
問 補助金が53世帯に約293万円一世帯に約55000円出されている。破格の補助金の実態は異常で市民の理解は得られない。廃止すべきと思うが。
答 今後も活動状況に応じた補助金の助成は必要と考えます。
問 法務省の人権侵犯の調査で同和問題に関する申し立ては年間0〜7件で、市の「人権リーフレット」の、差別を助長する文言は現状に合わせて見直しを。
答 北足立郡市町同和对策推進協議会の調査で、差別意識等の問題があるの
で、今のごころ見直す予定はありません。



人権啓発リーフレット

ふるさと納税 上尾道路Ⅱ期区間

鴻創会 金子 雄一

問 ふるさと納税の受入れ状況と活用先は。
答 受入れ状況は、平成26年度は95件で80万9000円、27年度は、701件で1169万5000円、28年度は、824件で2254万9000円と年々増加しており、本年度も昨年度の同時期より大きく上回っています。また、寄附の活用先として、「コウノトリの里づくり基金」「子ども教育ゆめ基金」等の6つの基金の中から選択することができま。

問 上尾道路Ⅱ期区間の本年度の予算措置と配分状況は。
答 上尾道路の事業内容は、調査設計・用地買収・環境整備を予定しており、当初予算額は12億7000万円、配分状況は、測量設計費約2億5000万円、用地費及び補償費約10億円、他工事費等で約2000万円を予定しています。

○その他の質問
・このす花まつり

女性視点の防災対策 高齢者活躍の事業

公明党 川崎 葉子

問 非常食レシピの紹介など、具体的・実践的な女性視点の防災フォーラム等行う考えはあるか。
答 女性の視点は必要不可欠であり、9月3日開催の市の総合防災訓練において、具体的に検討していきます。

問 障がい者に対して、災害時支援パンダナの作成、配布をすべきではないか。
答 避難所において有効であり、必要だと考えます。県内の状況などを調査・研究していきます。

問 高齢者が元気に活躍できる介護支援ボランティアポイント事業を実施する考えはあるか。
答 元氣な高齢者を増やし、介護予防の効果も期待できると考えますが、実現するにあたっての課題を解決し、実施について検討します。

○その他の質問
・水害対策
・ピロリ菌検査の導入
・肝炎対策の推進 他



アクティブシニアの社会参加支援

公明党 潮田 幸子

問健康マージャン等により、アクティブシニア（主に団塊世代）の男性の方が社会参加するきっかけづくりができないか。

答「禁煙・禁酒・お金をかけない」を原則とする健康マージャンは人気が高まっています。地域活動への参加のきっかけづくりの施策として、他自治体の先進例を研究し、県補助金活用を含め検討していきます。

問子どもが貧困が社会的問題となっている。小中学校の就学援助入学金準備金を、本来準備に必要となる入学前支給にできないか。



答現在は7月支給ですが、適切な時期に実施できるように前倒し支給を検討していきます。

○その他の質問

・「多子世帯応援クーポン」の市オリジナル給付部分の考え
・発達障がいの子どもたちへの支援拡充をどう図るのか

保育園工事中断理由は放課後児童C委託費は

コスモスクラブ 中野 昭

問（仮称）吹上コスモス保育園は、平成27・28年度で用地取得、道路整備、造成工事等が行われたが、29年度では予算が付けられず、工事は中断している。中断の理由は。

答平成27年4月に子ども・子育て支援法が施行となり、その後の保育を取り巻く状況が大きく変化しました。法施行前、民間保育所6園が現在では19園になり、定員も468人減っています。そうしたことから、現在まで待機児童ゼロを維持しています。

問小谷放課後児童クラブが民設民営の運営となるが、今後は建物建設、外構整備に要した借金返済、土地借地料等がかかる。委託費は以前の指定管理料に比べ、金額的にどの程度の増額となるのか。

答仮に、29年度と同様の事業を委託するものとする、約420万円の増額となります。

コスモスの家などが用途廃止計画になるのか

やさしい改革 加藤 久子

問公共施設等総合管理計画では、高齢者福祉センターコスモスの家、共和放課後児童クラブなど、子育て支援、保健・福祉関係施設が用途廃止計画となっていて、利用者観点と管理者観点から評価が低いということだが、机上の計画としか考えられない。いずれも市民に密着した施設である。計画の見直しを。

答人口減少に伴う40年間の計画です。全公共施設を同一の指標で「評価」したものです。この結果から、すぐに利用廃止とするものではありません。

問小谷放課後児童クラブは、今後、NPO法人が民設民営で実施することのこと。ありがたいと同時に感謝をしたいと思うが、民間でできることが、なぜ、行政ではできないのか、その理由は。

答学校内での対応が困難な状況になり、協議をしている中、NPO法人から民設民営で運営したいと申出がありました。

学校のトイレ洋式化は災害時応援協定は

公明党 永沼 博昭

問小中学校のトイレ洋式化への取組は。

答トイレの洋式化に対する学校現場及び保護者からの要望も高いことから、重点項目として、洋式化率90%に向け、計画的にトイレ改修を進めていきます。古いトイレは、床や壁がタイル貼りで汚れを水で洗い流すウェット方式となっていますが、改修後はすべてドライ方式とし、節水を考慮した省エネ仕様を採用します。



問薬剤師会との災害時応援協定と災害時のドローン活用協定は。

答薬剤師会との協定は、今年度締結を目標に協議していきま。ドローンは被災状況を映像により把握し、救援物資の提供、避難呼びかけなどの確かな支援活動を行うことができると期待され、有用なものと考え、ドローン活用の協定締結について調査・研究していきます。

吹上駅自由通路改修 婚活登録システム

鴻創会 坂本 国広

問 吹上駅自由通路の改修は。

答 躯体全体としてはある程度健全性が保たれています。部材落下箇所の対策を実施し、階段部の改修も検討していきます。

問 吹上地域保育園の新設は。

答 現状では、平成32年4月の開園予定は延長される見通しです。鴻巣市次世代育成支援対策地域協議会に諮問を行い、鴻巣市子ども・子育て支援事業計画の見直しを検討してもらう予定です。
問 「婚活マッチングシステム」と「婚活イベント」とは。

答 婚活マッチングシステムは、20歳以上の独身男女を対象とし、住所や連絡先の基本情報と、相手に対する希望・自己PR・趣味といった40項目を登録します。

婚活イベントは、月に一度市内の飲食店の協力店舗において、登録者のうち男女各10人程度で開催、平成29年3月から5月までの3カ月で、計3回開催し、61人の参加、9組のカップルが誕生しています。

子育て総合相談窓口設置・運転免許自主返納

鴻創会 頓所 澄江

問 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない総合相談窓口が設置された。相談内容も年々複雑化・多様化する中で、様々なニーズに対応するためには、多様なサービスを提供が必要と考

える。今後の取組は。
答 産前産後サポート事業や、産後ケア事業等の支援について調査・研究をしていきます。

問 高齢者の運転による交通事故減少を図るため、70歳以上の方が運転免許を自主返納した場合、一年間有効のフラワー号無料乗車証が交付される。一年後の移動手段の確保は。

答 有効期限満了後は、65歳以上の利用料金1000円の運賃となります。平成31年度からのフラワー号運行見直しに向け、高齢者の移動手段についても地域公共交通会議の中で検討します。

○その他の質問
・北朝鮮弾道ミサイルの緊急情報時の行動について

友好都市協定 災害時相互応援協定

かえんたい 秋谷 修

問 友好都市協定締結に対する認識は。

答 住民同士との交流促進をはじめ、来訪者の受入れによる物産品等の販売など地域経済の活性化や、災害発生時の物資の提供等の応援も期待でき、さらに自治体間交流を進めることにより、行政経営のノウハウを習得するなど、自治体運営の基盤強化につながることも考えられることから、大変有益であると考えています。

問 市長の考えは。

答 群馬県沼田市とご5年間の交流により協定締結の機は熟してきていると感じています。市民交流を拡大し、さらなる良好な関係の構築に努め、できるだけ早い時期の締結を目指したいと考えています。

問 栃木県小山市との災害時相互応援協定締結はいつ頃を予定しているのか。

答 協定内容を調整し、協定締結は本年7月頃の予定です。

小中学校適正配置等審議会の今後と総括

コスモスクラブ 芝崎 和好

問 8月に答申書提出後の審議会の扱いは。

答 8月上旬に審議会を開催し、答申書を教育長へ提出し、小中学校適正配置等審議会は、一度閉じます。

問 審議会の2年間の活動について、川里地域、笠原地区、吹上地域における本市の総括は。

答 川里地域の小中一貫教育については、他市への視察をし、中学校へスムーズな移行による学校生活など、小中一貫校としての特徴的な取組を聞くことができました。笠原地区では意見交換会や審議会の中の議論を踏まえ、アンケート調査を実施し、通学している保護者の意見や未就学の保護者の意見を把握することができました。吹上地域においては小谷小学校の学校評議委員会での意見交換会をし、中学校区を視野に入れ、吹上地域全体で考えるべきとの意見がでて、時期尚早との結論になりました。

自殺対策行動計画策定

鴻創会 野本 恵司

問 自殺対策基本法改正による行動計画策定スケジュールは。

答 このたび、国のモデル計画策定事業に選定されたため、モデル事業の中で行動計画を策定します。6月に市民アンケート調査を実施、夏ごろ国が示す計画策定ガイドラインを踏まえ計画案を策定、12月にはパブリックコメントを実施し、3月策定の予定です。

問 自殺未遂者は再び自殺に至るリスクが高いことが統計からわかっているが、その対応は。

答 消防や救急医療機関等と連携して支援するためには個人情報保護の観点から課題も多いため、先進市の取組を参考に調査・研究します。

問 自死遺族の中には生計を立てられなくなる人もいますが、支援に対する本市の取組は。

答 現在、困り事の内容に合わせて相談窓口で対処しています。また、県実施の自死遺族相談や自死遺族の会を案内しています。

地方創生に係る包括連携協定の締結状況は

鴻創会 矢島 洋文

問 協定の目的及び締結先は。

答 現在、大学1件と金融機関3件と協定を締結しています。日本薬科大学とは、市民生活における、医療と健康をはじめ、食と薬に対する理解を深め、子ども世代から子育て世代、高齢者世代にわたる、幅広い世代の健康増進に寄与すること、及び各々の資源の相互活用と人的交流を行い、豊かな地域社会の形成・発展と地域産業を担う人材育成等、相互に協力することを目的としています。また、埼玉縣信用金庫、埼玉りそな銀行、武蔵野銀行とは、健康・福祉の増進や少子高齢化対策、安全・安心な地域づくり、生涯学習に関することなど、様々な分野で相互に協力すること、及び協働した取組等を行うことにより、地方創生の実現に資することを目的としています。

○その他の質問

- ・ 適材適所の職員配置
- ・ 国民健康保険制度の改正

地球温暖化に対する取組は

かいえんたい 大塚 佳之

問 地球規模での温暖化は、急速な勢いで進んでいる。その理由の一つが、より便利な生活を求めてきた結果とも言われているが、単純に、昔の生活には戻せない。そこで、今やるべきことを考えるために、本市の現状や課題は。

答 自動車のアイドリング禁止については、県条例で定められています。啓発用パンフレットの配布や啓発看板設置の指導などを実施しています。植物を利用した壁面緑化は、平成20年度から公共施設で行っており、現在は53カ所で取り組んでいます。25年度から、緑のカーテンコンテストを開催して市民への周知を図っています。今年さらなる推進のため、新たに俳句やユニーク部門の写真を募集します。小学校高学年向けに昨年末に県が発行した副読本は、子どもたちにも温暖化対策の理解を深めてもらえるよう社会科や理科の学習で活用に努めます。

子育て支援アプリの見直しを

新たな風 細川 英俊

問 作成・運用費用はいくらか。

答 作成費用は、全額国費で約300万円です。年間の管理委託費は約90万円です。

問 情報の更新が不十分だと感じるが、運用状況は。

答 最終の情報はホームページにリンクしています。その内容を改めて確認します。

問 運用から15カ月が経過するが、利用状況や利用者の声を把握しているか。改善の予定は。

答 利用状況は保守管理業者から報告を受けています。二ス調査は行っていません。今後検討し、実施したいと思います。

問 作った後のフォローは。

答 利用者アンケートなどを行い、必要としている情報を掲載、配信していきます。

問 子育てに不要な情報が多いと感じるが、必要な情報に特化した方が目的に合致するのでは。

答 情報を精査し運用します。

子育て支援アプリ
QRコード



iPhone用



Android用

総合病院誘致に向けた 進捗状況は

日本共産党 諏訪三津枝

問 県の第7次医療計画を見据え候補地の選定をしている段階のことだが、候補地として何箇所検討したか。

答 病院整備適地は、様々な観点から、慎重に検討を進めているところだ。

問 今国会で、高齢化のピークとされる2025年までに、入院病床数を全国で33万病床削減することが明らかになった。本市における必要病床数の考え方は。
答 県の地域医療構想で、本市が属する県央地域保健医療圏では必要病床数は313床とされており、本市単独での算定は行っていません。地域医療提供体制の整備における病床数は医療圏毎で捉え、実際の整備にあたっては、各自治体の状況に合わせてた中で進められるものと考えています。

- その他の質問
- ・介護保険料・利用料の減免
- ・放課後児童クラブについて

国保の広域化に伴い保 険料の値上げは

日本共産党 竹田 悦子

問 国保の広域化は、社会保障費削減のために入院食事代の負担増、保険外治療の拡大など、「医療費適正化計画」として進められてきた。国保の広域化に伴い県は2回目の試算をしたが、その結果は。

答 一人当たりの国保料は、現行で8万3235円ですが、新制度では、12万7010円と試算されています。

問 国保の広域化により、国保料だけで、県が示した納付額を賅うことができないことがわかった。現在版年貢制度だと思つた。現在版年貢制度だと思つた。現在版年貢制度だと思つた。国保料の値上げをしないことについての考えは。

答 9月に示される3回目の試算結果を精査したうえで検討していきます。

問 値上げしないよう一般会計から繰り入れる考えは。

答 市税や国保料の役割もあり、今後、調査・研究していきます。

提出議案とその結果

(平成29年 第1回臨時会、6月定例会)

議会では上程された議案を、それぞれが関連する4つの常任委員会（政策総務・文教福祉・まちづくり・市民環境）に付託し、審議を重ねます。その上で、各議案に対する賛成・反対の立場を起立によって表明します。

議案番号	議案名	議決結果	会派名（各会派最左が代表者）																								
			鴻巣会										コスモスクラブ		公明党		日本共産党		かえんたい		おりづる		やいばり		新たな風		
			坂本晃	田中克美	矢部一夫	金澤孝太郎	野本恵司	金子雄一	頓所澄江	坂本国広	矢島洋文	市川徳宏	加藤英樹	羽鳥健	中野昭	阿部慎也	芝野和好	潮田幸子	橋本稔	川崎肇子	永沼博昭	竹田悦子	諏訪三津枝	秋谷佳之	大塚博子	菅野久子	加藤久子
平成29年 第1回臨時会	第29号 鴻巣市固定資産評価員の選任について	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第30号 専決処分の承認を求めることについて	承認	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第31号 専決処分の承認を求めることについて	承認	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第32号 専決処分の承認を求めることについて	承認	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第33号 損害賠償の額を定めることについて	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第34号 平成29年度鴻巣市一般会計補正予算（第1号）	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
平成29年 6月定例会	第35号 鴻巣市監査委員の選任について	同意	●	●	●	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	キ	キ	●	●	キ	キ	●
	第36号 人権擁護委員の推薦について	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第37号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第38号 鴻巣市特定教育・保育及び特定地域型保育に係る利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	●	●	●	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第39号 鴻巣市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第40号 市道の路線の廃止について	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第41号 市道の路線の認定について	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第42号 鴻巣市印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	第43号 平成29年度鴻巣市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議提第3号 「テロ等準備罪」法の廃止を求める意見書	否決	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	キ	●	キ	×	×	×	×	×	●	●	キ	×	●	●	×	

●は議案に対して賛成、×は反対、キは棄権、欠は欠席、-は本人に関する人事案件のため採決に加わらず ※議長は採決に加わらず ※並び順は議決順です。